

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	八重洲一丁目北地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物等新築工事(南街区)	階数	地上44F地下3F
建設地	東京都中央区八重洲一丁目3番地	構造	SRC造
用途地域	市街化区域、防火地域、商業地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年7月 予定	評価の実施日	2025年7月1日
敷地面積	7,558 m ²	作成者	大成建設株式会社
建築面積	6,386 m ²	確認日	2025年8月30日
延床面積	185,534 m ²	確認者	大成建設株式会社

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
高性能な断熱材やLow-Eガラス、OAフロア、システム天井の採用により利用者が過ごしやすい環境づくりを行い、外壁緑化・壁面緑化・外構緑化により地域のまちなみや景観にも配慮した計画となっている。		
Q1 室内環境 高性能な断熱材やLow-Eガラスにより室内の熱の侵入をおさえ、室内環境に配慮した計画となっている。 ゾーン別空調や冷房・暖房の選択が自由な空調システムを採用しており、過ごしやすい空間づくりを行っている。加湿・除湿機能を有し、かつ湿度50%を実現可能である。	Q2 サービス性能 高い天井により動きやすく、居心地の良い空間を演出。 耐震性に優れた構造や更新間隔の長い外壁、内装材、配管等を採用することにより長く良い状態で安心して利用できる設計となっている。	Q3 室外環境(敷地内) 外壁緑化、屋上緑化、外構緑化により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 高性能な断熱材やLow-Eガラスにより建物外皮の熱負荷抑制をおこなっている。	LR2 資源・マテリアル 雨水利用やノンフロンの断熱材を採用することにより環境に配慮した計画となっている。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場、駐輪場を計画しており、周辺環境の交通負荷抑制を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

無断転載禁止